

号外はインターネットの福島民報ホームページ (https://www.minpo.jp/) でもご覧になれます。

参院選 議席確定

自民63、立民17、公明13

維新12、国民5、共産4、
れいわ3、社民1、N党1、参政1

第二十六回参院選は十一日午前、百二十五議席全てが確定した。自民党は改選五十五議席を上回り、単独で改選過半数の六十三議席を確保し、大勝した。与党で七十六議席に達した。三十二ある改選一人区で自民は二十八勝四敗と圧倒。憲法改正に前向きな「改憲勢力」は国会発議に必要な三分の二以上の議席を維持し

た。改選二十三議席の立憲民主党は十七に後退した。公明党は一減の十二。日本維新の会は改選議席から倍増の十二。比例代表議席では立民を上回った。共産党は四、国民民主党は五でいずれも議席を減らした。女性当選者は三十五人で過去最多の二十八人を上回った。改憲勢力は自公両党と

参院の議席数

与党 146
野党 102

定数 248
過半数 125
3分の2 166



| 選挙前 139 議席 | | | | 選挙前 104 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|----|-----|-----|-----------|----|----|-----|----|----|----|----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 自民 | 公明 | 無所属 | 野党系 | 諸派 | N党 | 社民 | れいわ | 国民 | 共産 | 維新 | 立民 | 無所属 | 野党系 | 諸派 | N党 | 社民 | れいわ | 国民 | 共産 | 維新 | 立民 | | | | | | | | | | | | | |
| 63 | 13 | 0 | 5 | 1 | 1 | 1 | 3 | 5 | 4 | 12 | 17 | (55) | (14) | (0) | (8) | (0) | (1) | (0) | (7) | (6) | (6) | (23) | 56 | 14 | 0 | 7 | 0 | 1 | 0 | 2 | 5 | 7 | 9 | 22 |
| 与党・無所属 | | | | 野党・諸派・無所属 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※正副議長は元の党派に戻した。今回定数は3増。今回選挙には非改選の欠員補充1を含む

改憲勢力の議席数

定数 248
今回選挙 95
非改選 84
179

※改憲勢力は「自民」「公明」「維新」「国民」の4党など
改憲発議に必要な総議員の3分の2 166

維新、国民の四党に改憲に前向きな無所属を含む。九十五議席を得て、非改選の八十四議席と合わせて百七十九議席となり、三分の二(百六十六)を超えた。

自民は選挙区で計四十五議席を獲得し、比例は一減の十八議席。改選十四の公明は比例で一減となった。立民は選挙区で六減の十、比例は改選七を維持した。維新は選挙区で一増の四、比例は五増の八。一九九八年の民主党結党以来、自民政権

下で民主系以外の野党が参院選比例議席で野党第一党になるのは初めて。れいわ新選組は三、社民党、NHK党、諸派の参政党は、それぞれ比例で一議席。投票率(選挙区)は共同通信社の十一日午前の集計で52.05%。

本県選挙区 開票結果

| |
|-------------------------|
| 当 419,701 星 北斗 58 自民新 |
| ◎ 320,151 小野寺彰子 43 無所属新 |
| 30,913 佐藤 早苗 62 無所属新 |
| 23,027 窪山紗和子 47 参政党新 |
| 19,829 皆川真紀子 52 N党新 |

(選挙最終、敬称略)
無効21,876、持ち帰り・その他13、◎は当選者以外の法定得票数獲得者

本県選挙区 星氏41万9701票獲得

参院選本県選挙区(改選一議席)は県選管最終で、自民党公認の新人星北斗氏(五八)が公明党推薦が四十一万九千七百一票、事実上の一騎打ちを繰り広げた野党統一候補で無所属の新人小野寺彰子氏(四三)が立憲民主党、国民民主党、社民党推薦が三十二万五千五百一票

両氏のほか、無所属の新人佐藤早苗氏(六二)は三万九千十三票、政治団体「参政党」公認の新人窪山紗和子氏(四七)は二万三千二百七票、NHK党公認の新人皆川真紀子氏(五二)は一万九千八百二十九票だった。

共産 岩淵氏(福島市)再選



岩淵友氏

比例代表の本県関係では、共産党公認の現職岩淵友氏(四五)が福島市在住

が再選を果たした。岩淵氏は喜多方市出身。福島南高、福島大行政社会学部(現行政政策学類)卒。二〇一六(平成二十八)年の参院選比例代表に立候補し初当選した。

自民党公認で元法相の元職岩城光英氏(七二)いわき市在住、日本維新の会公認の元職山口和之氏(六九)郡山市在住、共産党公認の新人丸本由美子氏(五九)須賀川市在住は落選した。